

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 2021-2022



## ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2720地区  
2021-2022年度ガバナー

**大森 克磨**

OMORI KATSUMA

### 地区大会を終えて

国際ロータリー第2720地区の2021-22年度の地区大会を無事終えることが出来ました。

地区の皆様には1000名を超えるご登録を頂いた上で、当日も多数の皆様のご出席を頂きました。誠にありがとうございました。

また、地区大会を企画、準備、運営をして頂きました、佐藤俊介地区大会実行委員長、前田眞実副委員長、森正行幹事、ほか地区大会委員の皆様におかれましては、無力の私を全力で支えて頂き、心より感謝致します。

佐藤実行委員長には大所高所からのご判断と実行委員会やホストクラブ、コホストクラブを鼓舞し統括する役割を担って頂きました。

また、前田副委員長には総合プロデューサー、全体のマネージャー、現地でのディレクター等の役割をすべて担って頂きました。

5月13日はゴルフ大会、14日はDRUM・TAOの公演や、キッチンカーによる食事の提供など屋外プログラムがあることから、1ヶ月ほど前からお天気の長期予報を毎日見るようになりました。この頃、予報は両日も雨でした。

1週間ほど前から、14日は予報は晴れとなりましたが、とうとう13日は大雨の予報が出たため、前日の12日にゴルフ大会は中止とさせて頂きました。50組、約200名参加の大コンペを企画立案し、準備を進めてきた丸田俊和ゴルフ部会長にとっては苦渋の決断であったことと思われます。

しかし、当日は朝から大雨であったばかりでなく、ゴルフ場は霧まで出てしまいました。楽しく安全に出来ない状況下では、残念でありながらも大英断であったと思います。

14日は一転して、晴れて大変気持ちの良いお天気となりました。

そうすると、後は市民の方々がどれくらい来て頂けるかと関心が移ります。

しかし、開始早々はポツポツとしか入場者がありませんでした。

ところが、TAOの演奏が始まる頃には急に人が増え始めました。

私は、12時以降は屋外を見ることは出来ませんでした。予定通りの入場を実現することが出来たようです。



2頁へ続きます

## Contents

- ガバナーメッセージ.....01~02
- 入退会者のお知らせ.....05
- コーディネーターNEWS.....03~04
- 表彰と物故会員.....05
- 今月の予定.....05
- 出席報告.....06

- RIテーマ..... 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
- 地区スローガン... 「ロータリーのパワーは親睦が生みだす！あらゆる場を親睦の機会に」～話しかけよう～
- 地区ビジョン..... 「若者と親しみ、ロータリーを繋ごう。」

ウクライナ避難民支援のためのカレー販売200食も完売したことを聞き、難民支援及び市民とロータリアンの集いというコンセプトも見事実現することが出来たかと思います。

そして、市民の方々も楽しんで頂いた上で、ロータリーの活動を知って頂けたのではないかと思います。

本会議については、私自身はいくつかポカを致しましたが、実行委員会は綿密に立てた計画に従い、一致団結して見事にフィナーレを迎えることが出来ました。

デザイナーのコシノジュンコさんに記念講演をして頂きましたが、大変好評でした。

コシノさんは大分県立美術館において、4月15日からコシノジュンコ展を開催しておりましたが、記念講演がきっかけとなって、たくさんのロータリアンやそのご家族がこれを見に行くようになり、コシノさんからも「ロータリーの人がたくさん来てくれてありがとう。」とお礼のお言葉まで頂きました。

ロータリーの親睦のパワーを、まざまざと見せつけられた地区大会でした。



### 御礼

私の任期も残すところ6月のみとなりました。皆様の多大なご協力に感謝申し上げます。

地区運営に関しましては、特にガバナー補佐の皆様、永田研修リーダーをはじめ研修委員の皆様、各部門の部門長・委員長の皆様、そして森永隆二地区幹事には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

また、ガバナー公式訪問におきましては、クラブ会長、クラブ幹事の方をはじめ、会員の皆様に温かく歓迎して頂きました。一生の思い出です。

ガバナーノミニ、ガバナーエレクト、ガバナーとしての3年間は、ロータリアンとして大変貴重な経験をさせて頂きました。

この経験を、今後の地区の活動に生かしていければと考えております。

新型コロナウイルスの感染拡大にはずいぶん妨害されましたが、徐々に対応にも慣れてゆき、3年前の日常が戻りつつあるように思います。

新型コロナウイルスを克服し、堀川年度がのびのびと活動出来る年度であることを祈念しております。

少し早いですが、1年間ありがとうございました。

**IMAGINE ROTARY!**



# Rotary Region 1 & 2 & 3

# コーディネーター NEWS

2022年6月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

## ロータリーの魅力とは

私たちがロータリーに入会し、会員であり続けるのは、ロータリーに対して何らかの魅力を感じているからでしょう。ロータリーに魅力がなければ、入会もしませんし、会員であり続けることはできません。その魅力をどうとらえるかはロータリアン一人ひとりにより異なるかもしれません。

私はロータリーの魅力について問い直すにあたり、あらためてロータリーの本質を正しく再認識することが欠かせないと考えます。ロータリーのCore Values (中核的価値観) にこそロータリーの本質があると理解します。

1. Service: 人のために良心をもって行う行為・行動すべてであり、ロータリーでは社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕と分類されます。ロータリーならではの奉仕の理想や超我の奉仕をさせていただくことに魅力を感じます。
2. Fellowship: 奉仕の理念に集う私たちロータリアンはいわば同志であり、志を同じくする仲間であります。その仲間を大切に思う心を育て、ともにロータリーの目的に向かう原動力となるロータリーならではの親睦に魅力を感じます。
3. Leadership: 世界中の多種多様なリーダーの集まりの中で、相互に啓発されて、そのリーダーシップを学び磨きあうことのできる例会や研修などの多種多様なプログラムを備えるロータリーのメンバーであることに魅力を感じます。
4. Integrity: 人としての在り方としての大切な芯となる、誠実・真摯・信念・品位・法令順守など高潔性に大きな価値を置き、自分磨きができるロータリアンとしての自覚と誇りが持てることに魅力を感じます。
5. Diversity: 国・民族・宗教・言語・人種・性別・職業・年齢などの多様性を受け入れて認め合うだけでなく、Equity (公平) Inclusion (包摂性) の概念をとりいれて、誰一人として取り残すことのない世界をともに目指すことに魅力を感じます。

これら5つの中核的価値観をもとに、「私たちロータリアンはお互いに手を取り合って行動に移すことで、国際社会や地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出す世界を目指す」(ロータリーのビジョン声明) に対して大きな魅力を感じます。ロータリーはまさに、人としてのより良き生き方を学び成長することができる道場であり、世界平和をめざす実践哲学でもあります。このようなロータリーとの出会いに感謝してあらためてロータリーを学び、実践し、発信し、ロータリーを楽しみたいと思います。今まさに、ロータリーの魅力を再認識したうえで、時代の変化に適応した会員維持と会員増強が望まれます。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成(あすかRC)

# Rotary Region 1 & 2 & 3

# コーディネーター NEWS

2022年6月号 No.2

発行：Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

## 2021-22年度もあと1カ月

2020年1月15日に日本で最初のCOVID-19感染者が確認されて2年5ヶ月が過ぎましたが、未だ多くの感染者が確認されています。この間、ロータリー活動も制限され、例会やロータリーの会合の多くが、ZOOMを使ったオンラインでの会合やオンラインとインパースンを合わせたハイブリッド会合となりました。

そして、北京冬季オリンピックが閉会した4日後の2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻するという予想もしない出来事が起こりました。ロータリーの究極の目的が「世界平和」であることを考えると、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを願ってやみません。国際ロータリーは、早速2月25日にウクライナ情勢に対する声明を発出し、ロータリー財団はウクライナから避難する人々への人道支援のためにロータリー災害救援基金を募り人道的救援活動に活用していきます。そして、その額は1,450万ドル(5月12日更新)となっています。ロータリアンの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、2021-22年度もあと残すところわずかとなりました。この時期になると、年度初期に決めたロータリー財団の目標の達成の可否が気になります。特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」は毎年地区ロータリー財団委員長を悩ませる懸案事項です。幸い昨年は皆様のご努力で日本の第1地域から第3地域のすべてのクラブが寄付をいただき「年次基金ゼロクラブゼロ」を達成しました。ご存知のように年次基金への寄付は3年後の地区の地区補助金の財源となる貴重な資金です。この財源を利用して各地区の多くのクラブがプロジェクトを企画立案し、戦略計画に基づいてクラブの活性化を図ることが出来ます。皆様がロータリー財団の年度目標について、今一度ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

毎年日本のロータリー財団の目標はRRFCが策定することになっています。毎年国際ロータリー日本事務局財団室からの財団室NEWS 4月号に掲載されます。今年も次年度R財団目標が掲載されました。年次基金への寄付額目標は150ドル/ロータリアンですが、実はこの財団目標がクラブのレベルまで周知されていないことが、往々にしてあるのです。地区財団委員長の皆様には是非クラブレベルでの周知にご協力をお願いしたいと思います。

次年度はこれを踏まえ、地区財団委員長とロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)との合同会議を企画したいと思います。

第3地域の11地区では4月現在昨年同月比で8地区の寄付が昨年を上回りました。多くのご理解をいただき、コロナ禍の中にも関わらずご支援いただいたことに感謝申し上げ更なるご理解をお願いいたします。

第3地域 RRFC 永田 壮一(熊本城東RC)

今月の予定

◆6月4日(土)～8日(水) 国際大会(ヒューストン)

◆6月11日(土) インターアクト指導者研修会

◆6月11日(土)～12日(日) RA第37回会長幹事会・地区研修会(津久見)

◆6月18日(土)～19日(日) 第25回日本青少年交換研究会・熊本会議

◆6月25日(土) ~~引継式(大分)~~日程を変更し、少人数で開催予定。

入退会者のお知らせ 2022年5月20日現在

入会者 新会員のご紹介をいたします

Table with columns: クラブ名, 氏名, 職業分類, 推薦者. Lists new members from various clubs like 山鹿, 荒尾, 肥後小国, etc.

退会者

Table with columns: クラブ名, 氏名, 職業分類. Lists members who have left, such as 山鹿, 熊本, 人吉中央, etc.

寄付金のご協力感謝いたします。 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー (1回目) 熊本平成RC 宮本 量治 会員

物故会員 深く追悼の意を表しご冥福を祈ります。 山本 博史 会員, 壽崎 肇 会員, 加藤 孝昭 会員. Includes photos and biographical information for three deceased members.

2022年4月 例会出席報告

Main table showing meeting attendance reports for April 2022, categorized by district (熊本第一 to 熊本第七) and sub-district (大分第一 to 大分第五). Columns include club name, meeting count, attendance rate, and membership changes.

※衛星クラブがあるクラブの「会員数」は衛星クラブの会員数を除いた人数を表記しています。

RI第2720地区事務所 〒860-0807 熊本市中央区下通2-7-7 R-terrace 4F TEL096-312-2720 FAX096-355-2720 E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp